

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足： Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：データサイエンス／人間科学

講習会コード： t d s 2 0 2 4 0 6 0 5 h 1

近年発達の著しい AI を業務に取り入れ課題解決やイノベーションに活用するためのコツ・考え方をわかりやすく講義します。また、実務面に必要なデータ処理スキルを Python に焦点を当てて解説します。意欲の高い若手はもちろん、業務改善に携わるベテランにもおすすめです。

生成系 AI (ChatGPT など) を課題設定・アイデア創出へ活かすコツと そのために必要な Python データ処理スキル

講師：株式会社ケンシュウ 代表取締役 倉地育夫氏

1979 年、名古屋大学大学院工学研究科応用科学専攻を修了。同年、プリチストンタイヤ株式会社 研究第一部に入社。科学技術庁無機材質研究所、プリチストンタイヤ開発研究所を経て 1991 年よりコニカ株式会社に勤務。感材開発本部第 4 開発センター主任研究員、感材技術研究所主幹研究員を歴任。また、1995-1997 の期間に福井大学地域共同研究センター客員教授を務める。2005 年にコニカミルタ株式会社 生産技術本部先行デバイス技術部リーダー、2009 年にコニカミルタビジネステクノロジー株式会社 開発本部化成開発センター担当部長に就任。2011 年に同社を定年退社し、株式会社ケンシュウを設立。2016 年よりナノポリス（中国蘇州）顧問に就任。
2000 年 5 月 第 32 回日本化学工業協会技術特別賞受、2004 年 5 月 写真学会ゼラチン賞受賞。2007 年、担当研究(半導体用高純度 SiC の開発と事業化)にてプリチストンが日本化学会化学技術賞を受賞。著書に『ポリマー混練の活用ハンドブック（ゴムタイムズ社、2020 年）』。その他、セラミックスから高分子材料まで共同執筆書籍多数。

●日程 2024 年 6 月 5 日（水） 10:00～17:00

●受講料 1 名 36,300 円（税込／テキスト） ※4/5（金）までにお申込の場合、29,040 円（2 割引）となります

I. AI ブームと社会の変化

1. コンピューターの登場と業務のイノベーション
2. データサイエンスと科学
3. 第三次 AI ブームから社会実装へ
4. オブジェクト指向と問題解決法
5. そもそもデータとは？

II. データ活用スキルの磨き方

1. データはオブジェクト（1）
2. データ処理の方法論
3. データ処理のステップ
4. データと AI の活用方法

III. データとアイデア

1. データはオブジェクト（2）
2. アイデア創出法とデータ収集
3. データの生死を決めるグラフ
4. 数理モデルの落とし穴
5. データとアルゴリズムで問題解決

IV. データ処理に必須のスキル

1. データサイエンス概略
2. Python 概略と学習の仕方
3. AI で Python 自由自在
4. Python によるデータ処理自動化ヒント

V. 未来の実務はどうなる？

<本講座での習得事項>

1. データの前処理方法（業務に必要なデータを収集し解析するスキル）
2. 実務における問題解決法
3. Python 概略知識

<講義概要>

ChatGPT の登場で生成系 AI に注目が集まっている。知識労働者の実務の大半が AI に奪われるような勢いと、事務文書だけでなく結婚披露宴の祝辞まで AI に作らせたニュースに何故か笑えない若いサラリーマンは多いのではないかと。イノベーションのスピードが加速し 10 年後は不明だが、AI が人間の作製したプログラムで動作している限り、現在の AI に難しい業務が存在する。それは、「何も課題の設定されていない状態で始めるデータの処理」である。この意味の詳細はセミナーで説明するが、日々の実務では、そこで見出された問題から課題を設定して仕事が始まることに着目していただきたい。「正しい問題を見出す作業」と「課題設定作業」は、現在の AI では難しい。ドラッカーでさえ、「正しい問題を見出す作業は難しく、それができれば、問題解決の 80% はできたことになる。」と述べている。すなわち、「課題設定作業」や、科学における実験ならば「仮説設定作業」は、人間がしなければいけない仕事として残り、仕事の成果は、AI 登場以前でもこれらの作業の品質に左右されてきた。

本セミナーでは、社会基盤に AI の実装が始まった実務のあり方を想像し、問題を解決するために必要なデータに着目し、実務の各段階におけるデータの収集方法からデータ処理方法に関して課題設定の方法やその基になるアイデア創出法とともに講義する。セミナーで紹介する方法について不足があれば、例えば ChatGPT に質問すると分かり易く説明が出てくる。その質問方法についてもコツを説明する。

インターネットの時代で情報が溢れているにもかかわらず、業務でうまく情報活用できていないと感じられている人は多いのではないかと。そこに生成系 AI が登場し、情報の処理方法まで誰でも自由に利用できる環境が整ったが、昔から実務でスキルの差が出る作業段階で、これら新技術をうまく使いこなすスキルは、益々実務能力の差を広げる時代となった。新しく必要とされるスキルでは、幸いなことに経験で差が出る作業の変革を要求しているため、実務経験の浅い若い人が活躍できる時代になったのではないかと。本セミナーは入社 3 年目レベルまでの若い社会人を対象としているが、実務経験が豊富な人にも参考となる内容である。

<お申込要項>



下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

03-6261-7924

申込講座	2024/6/5 生成系 AI(ChatGPT など)を課題設定・アイデア創出へ活かすコツとそのために必要な Python データ処理スキル		
会社名※			
所在地※ (請求書等の送付先)	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (紙請求書) <input type="checkbox"/> 銀行振込 (PDF 請求書) <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先: entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店 (909)
口座番号	(普) 0973522
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン (http://www.tech-d.jp/)		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合せ)		